

革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)における拠点研究機関一覧

研究対象領域	拠点研究機関名	試験研究計画名	試験研究計画内容	研究ワークショップの開催
医学・栄養学との連携による日本食の評価	京都大学 医学研究科	世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証	日本食の科学的エビデンスの明確化のため、異分野の医学・栄養学に従来の食品科学、食文化学を加え、更に日本食調理の実践の観点も含めた多角的なアプローチにより、科学的な検討・解析を行う。具体的には、臨床栄養学、医学、脳科学、運動科学と食品分野の研究者・日本食料理人が共同で、日本食の栄養成分が疾患や健康、運動能力に与える影響、日本食のおいしさの正体の解明等の研究のほか、日本食の文化的側面の研究も行う。	調整中
情報工学との連携による農林水産分野の情報インフラの構築	名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部	ICT 活用農業 事業化・普及プロジェクト	中規模以下の農家におけるICTシステムの導入・普及を促進するため、研究戦略に記された研究内容に加えて、生産物の差別化に資する新規センサー、生産履歴等の自動転換ソフト、収穫予測による余剰生産物取引システム、生産者のノウハウを共有するクラウドシステム等を開発すると共に、他分野のビッグデータ取扱システムとの共通インフラを使用して、実証実験を実施し、実用可能なシステムを構築する。	調整中
工学との連携による農林水産物由来の物質を用いた高機能性素材等の開発	信州大学 先鋭融合研究領域研究群 カーボン科学研究所	農林水産物由来のナノ材料の創成と応用の開拓	農林水産物等を活用してテーラーメイドのナノ構造体を調製し、先進のナノカーボンとのナノ・ナノ複合化によって石油由来材料を超える新規機能材料を創出する。これを電子機器、輸送機器等広範な分野に応用して高付加価値農林水産物由来材料の循環体系を、殊にグローバルな戦略性の視点で確立する。これにより農林水産業の収益構造の向上、農工連携による両産業の強化そして脱石油資源化に向けての日本型循環型社会形成に寄与する。	調整中
理学・工学との連携による革新的ウイルス対策技術の開発	岡山大学 自然科学研究科 (工学系)	先導・革新的人工核酸結合タンパク質を用いたウイルス不活性化技術の確立と社会実装	鳥インフルエンザウイルスや植物病害ウイルスの感染防止のため、ウイルスを不活性化する人工タンパク質を作成し、動物細胞や農作物で性能の検証を行う。また畜産や農作物におけるウイルス感染の早期発見のため、高感度ウイルス検出法を開発する。	調整中